

# がん検診の結果が「要精密検査」の方は必ず精密検査を受けましょう!

がん検診では、精密検査が必要かどうかを調べます。がん検診で精密検査が必要（要精密検査）と判定された場合、「がんの疑いがある」可能性があります。**より詳しい検査を行い、本当にがんがあるかを調べる必要があります。**精密検査では、がん以外の病気を見つけられることもあります。

※がん検診で細胞がとれていないなどうまくいかなかった場合は「要再検査」となります。検診機関に確認して再度検査を受けてください。

CIN（がんになる前の状態）や早期の子宮頸がんは**自覚症状がありません**。がんであっても早期のうちに治療すれば、**90%以上が助かります\***。

\*ここでいう「助かる」とは、がんと診断された人のうち5年後に生存している人の割合です。  
出典：日本産科婦人科学会婦人科腫瘍委員会報告 第61回治療年報

精密検査では、**がん以外にCIN（がんになる前の状態）が数多く診断**されています。CIN（がんになる前の状態）の場合、CIN1・2では精密検査を繰り返し、CIN3では治療を行います。CIN3での治療は、**より身体的に負担の少ない治療が可能**になります。

## 検診の流れ

### 1. がん検診

- ・問診
- ・視診
- ・内診
- ・細胞診

### 2. 精密検査

検診の結果、「**要精密検査**」と判定されたら、精密検査を受診

### 3. 「がん」か「がんではない」か判明

子宮頸がん	▶	治療
CIN3	▶	医師の指示に従い精密検査を繰り返す
CIN1・2	▶	2年に1回定期的ながん検診
異常なし	▶	

## 主な精密検査の内容\*

\*精密検査は以下の検査を組み合わせで行います。



### ■ コルポスコピー診及び組織診

コルポスコープを使って子宮頸部を詳しく見て、病気があると疑われる部分（組織）を一部採取して標本にし、顕微鏡で診断します。

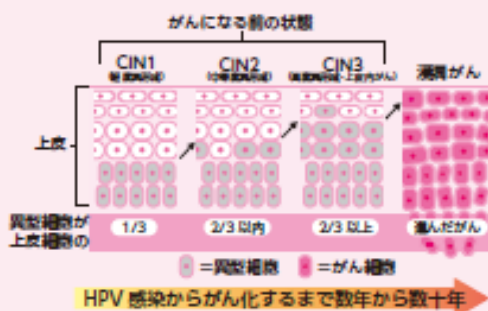


### ■ HPV検査

子宮頸部から細胞を採取し、HPV（ヒトパピローマウイルス）に感染しているかどうかを調べます。

## 子宮頸がんとは

子宮頸がんは、子宮の入り口（子宮頸部）近くのできるがんです。性交渉で感染するHPV（ヒトパピローマウイルス）の感染が長期間継続すると、子宮頸部の細胞に異常が生じ、CIN（がんになる前の状態）を経て、数年から数十年かけて子宮頸がんになります。



## お問合せ先

調布市健康推進課  
電話:042-441-6100  
FAX:042-441-6101  
Mail: kenkou@city.chofu.lg.jp